

あなたの身近にある消火器は大丈夫？

腐食した消火器は 破裂する可能性があります！

消火器の状態を点検し腐食が進んでいるものは**絶対に使用せず**、衝撃を与えるような取扱いをしないで下さい。

また、消火器は水回りや屋外など腐食しやすい環境に放置せず、**適切な維持管理**を行いましょよう。



破裂した消火器

近年の事故事例

事故発生年月	事故概要	経過年数
平成21年9月 大阪	自宅近くの駐車場に置いてあった消火器を触っていたところ、消火器が破裂し頭部を直撃し、男の子が意識不明の重体	20年
平成22年2月 滋賀	建物裏に野ざらしで放置されていた消火器を廃棄のため、放出したところ、本体底部が破裂	30年以上
平成23年9月 大分	産廃処理中、誤って消火器が操作されて破裂、男性が死亡	不明
平成25年7月 岡山	消火剤を放出させようと操作したところ、消火器が破裂し顔面を直撃、男性が重傷	不明
令和2年3月 愛知	飲食店内で、集積した油かすから炎が立ち上り、初期消火を試みたところ、消火器が破裂し容器が顔面に当たり負傷	20年
令和3年5月 兵庫	事業所内のブレーカーから出火し、従業員が初期消火を試みたところ、消火器が破裂し、容器が胸部に当たり負傷	32年



古くなった消火器は更新しましょう



(※ 政府広報オンラインより転載)

チェックポイント

- 容器にサビや腐食、変形はないですか。
- 部品の脱落、破損、キャップにゆるみはないですか。
- 風雨にさらされていたり、湿潤な場所に設置していませんか。
- 消火器の使用期限は過ぎていませんか。

定期的に消防用設備等の点検をしましょう



消防用設備はもしもの時に確実に使用できる状態で維持する必要があります。

不良箇所があれば、消防設備士(防災設備業者等)に相談するなど、適切な措置を行ってください。

※定期的に消防署へ報告する必要があります。

旧規格の消火器は使用することができません！

老朽化消火器の破裂事故等の事故防止を図るため、消火器の規格省令等が改正されました。

旧規格消火器を設置している建物は、2022年1月1日までに新規格の消火器に交換が必要です。



旧規格と新規格の消火器を見分ける方法は？



イラストで消火器が適応する火災が表示されているのが新規格の消火器です。